

東日本大震災から

多言語での情報提供のあり方、地域に必要な取組について ～外国人住民 災害対応研修のご案内～

(特活)多文化共生マネージャー全国協議会

私たち「(特活)多文化共生マネージャー全国協議会(NPOタブマネ)」では、3月11日に「東北地方太平洋地震多言語支援センター」を立ち上げ、日本語を母語としない外国人の方々等に必要な情報を翻訳して提供するとともに、多言語ホットラインの電話相談への対応といった活動に従事していました。また、仙台や茨城等の被災地に専門スタッフを派遣し、被災地における多言語支援センターの立ち上げ・運営にも携わらせていただきました。



被災地状況報告(東北地方太平洋
沖地震多言語支援センターにて)

被災地の復興はまだまだこれからです。外国人住民も同じ被災者として等しく救済されることや、震災前と同様に地域に住む同じ住民としてともに復興の道を歩んでいけるよう、地域の多文化共生をより一層推進し、これまでの新潟中越沖地震や東日本大震災で蓄積してきた経験、見えてきた課題等について、多言語支援センターに携わった実践者より、行政やNPO団体、外国人住民等様々な視点からお伝えさせていただきます。

基本プログラム

- point 1 多言語支援センターの活動紹介
- point 2 被災地の現地報告
- point 3 ワークショップで理解を深める

プログラムA

- point 1 上記「基本プログラム」の内容
- point 2 避難所運営(宿泊訓練も可能)
- point 3 外国人住民への防災意識啓発講座

プログラムB

- point 1 上記「基本プログラム」の内容
- point 2 【導入】外国人住民にとって望ましい活動とは
- point 3 災害時外国人サポーター養成講座

皆様の地域の現状に考慮したプログラムをご提案いたします。

まずは気軽にご相談ください!!

行政、NPO、外国人住民など様々な
分野の実践者がご対応いたします!

災害対応以外にも、以下のテーマの研修も可能です。お気軽にお問い合わせください

- 多文化共生の現状と課題
- 外国人住民から見た日本の地域
- 地域の日本語教室のあり方
- 外国人住民の立場から考えた望ましいボランティア活動とは
- これからの国際交流協会のあり方
- 災害時とやさしい日本語について・・・

【お問合せ先】 (特活)多文化共生マネージャー全国協議会 担当 時(とき)

メール:h-toki@jiam.jp 電話:077-578-5932

NPOタブマネ

